



任せて認める

浅羽学園（浅羽中学校区）では、「任せて認める」指導を通して、魅力ある学園づくりを進めています。子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高め、「みんなで何かするのは楽しい」という評価指標値のアップを目指します。

本校でも、楽しい時間を共有する縦割り活動の充実を図ります。6月13日（木）の昼休みには子どもたちが計画した「全校かくれんぼ」を行います。探すのは子どもで、かくれるのは、校長、教頭、1～6年の担任の8人です。かくれてはいけない場所は、駐車場・プール・職員室・職員更衣室・ベランダ・トイレだそうです。

～全校かくれんぼの流れ～

12:50 給食終了・机の上を片付ける（何も出さない）

12:55 たいき場所に集合・ルール確認 〈先生がかくれる〉

13:00 （♪放送）全校かくれんぼスタート

13:20 （♪放送）タイムアップ 放送による結果発表の後、自分の教室に戻る

13:30～ 5時間目

この活動が、子どもたちを叱る材料にならないように先生方に話しているところです。当日は夢中になって、校舎内を走る子も出るでしょう。子どもたちに「任せる」ことをどの範囲で行うのかがポイントとなるはずなので、全職員で考え、共有する必要があります。子どもたちに任せる活動を通して、先生たちの力も育つことを期待しています。なお、雨天延期の場合、18日（火）に行います。

6月は「授業強化月間」

「袋井型授業スタイル」をベースにしながら、子どもの「主体的な学び」に焦点を当てます。小学校教員の悪い癖は、子どもが分からないと説明に説明を重ね、余計に混乱させてしまうことです。その際、幼児教育のスタイルが参考になります。小学校の図工や音楽や体育、生活科と似たような活動をすることがありますが、保育者がしゃべる時間は小学校に比べて格段に短いのです。

園の先生に小学校の授業を参観してもらい、小学校の教員は園の保育を参観することを行います。また、本校では先生同士でも授業を参観し合い、説明が多すぎる授業になっていかないか気を付け合うようにしていきます。